

## Web 学校評価【4月】の結果

- 1 方法 4月24日(金)～27日(月) まちこみ「イベント出欠」による
- 2 問い 「学校は、この一ヶ月の学校運営を適切に行っているか」
- 3 結果 (539人から回答をいただきました)

○適切に行っている	×適切に行っていない	△どちらとも言えない
434人(80.5%)	4人(0.7%)	101人(18.7%)

- 4 主なコメント【回答】 ※内容ごとに整理し、まとめて表現しております。

### 《遠隔授業》

- ◇先生方や級友とのつながりが感じられて精神的にありがたい。
- ◆時間を増やしてほしい。(30分は短かすぎ、他校に比べて時間が短い。)
- ◆回数を増やしてほしい(午前午後各1回、一日4コマ、3年生だけでも一日2回…)
- ◆イヤホンの音が聞こえにくいそうです。
- ◆中途半端な遠隔授業ならやらないほうがいい。
- ◆やり方を工夫してほしい(生徒が傍観者にならないよう指名発言者を増やすなど双方向のメリットを生かせば、連帯感も増すと思う。現状だとYouTubeに近い。)
- ◆塾などのようにYouTubeで黒板をアップしてうつす動画授業もいいと思う。
- ◆合同ではなくクラス毎にやってほしい。
- ◆操作に気持ちが行ってしまい、ノートがとりづらいつのこと。
- ◆録画したものをYouTubeでもう一度見られると助かります。
- ◆青森市がYouTubeを使って学習できるようにすればいい。
- ◆他校に比べて遅く始まったのはなぜ? ニュースで聞いたより何日も遅かった。
- ◆画面のタイムラグを考慮して解答を示してほしい。(理科の長さがちょうど良い)
- ◆今後、状況次第では、時間延長等もあるのでしょうか?

### 《学習全般》

- ◆もっと宿題を増やしてほしい。もらった日に終わってしまう。
- ◆読書のためにおすすめの本を紹介してほしい。ダンスのレッスンも楽しそう。
- ◆子どもの学力向上が心配。宿題のボリュームを増やし遠隔授業を長くしてほしい。
- ◆問題集を買って取り組んでいるが、時間を持てあましています。
- ◆この状況は長引くことが予想され、学習が追いつくか心配。
- ◆子どもたちは、家庭ドリル等の学習に疲れてきている。
- ◆登校日の3時間滞在は、密だと思ふ。
- ◆保護者用のタイムスケジュールがほしいです。より子どもに声掛けできます。
- ◆カラーのプリントを白黒印刷しているため、解答できない問題がある。

## 《タッチ & ゴー》

- ◇タッチ & ゴーに賛成。運動不足の子が少しでも体を動かす時間になればいい。
- ◇先生が生徒の顔を見たり、友達と会うことで心身のバランスが保てると思う。
- ◆タッチ & ゴーは、やる意味があるのか？
- ◆タッチ & ゴーは、感染のリスクを増やすだけのような気がする。
- ◆登校日とタッチ & ゴーは、どうしても密集を作るので心配。一瞬で、先生方の配慮が無駄にならないよう、連休明けまでは休校とすべき。

## 《学校運営・危機管理体制》

- ◇状況を見て判断しその都度知らせてくれてうれしい。
- ◇他校より情報発信が早い。西中のHPの更新が一番早く助かっている。
- ◇発熱の欠席連絡を受け、素早く登校中止を判断したのはよい。学校の危機管理の高さを感じた。
- ◆連絡が遅い。全く何にもなっていないと思う。評価は○だが、少し分かりづらい。
- ◆複数の生徒が発熱したなら登校日とせずがっちり休校にした方がいい。
- ◆タッチ & ゴーの時、マスクを着用していない先生がいた。
- ◆発熱多数の連絡に不安を感じた。登校か遠隔かを選択できるとうれしい。

## 《まちこみ》

- ◆登録している学年、学級が去年のままになっている。
- ◆発信する情報が二転三転し何が正しいのか分からなくなる。発信日時を付ける。
- ◆学年を一つにまとめないでほしい。
- ◆直前の連絡は、仕事をしていて見られないので正直困る。
- ◆重要な連絡と活動状況のお知らせを区別していただくと助かる。

## 《その他》

- ◆修学旅行のお金を一括で支払ったが、会社がつぶれるという心配はないか？
- ◆2年生のクラス替えの発表を早くしてほしい。
- ◆せめて家では子どもの健康管理をしっかりやり、学校再開に備えます。
- ◆青森市内にはまだまだ他人事のように感じている家族が多い気がする。夕方、近所の公園で西中の一年生数名が毎日のように遊んでいるのを見ると各家庭の認識の違いが大きいと感じる。

## 学校からの回答（学習面）

### ◇なぜ、他校より取組開始が遅いのか？

青森市では、昨年度（コロナ騒動が起きる前）からICT教育の推進を掲げ、市内3つの中学校と1つの小学校を遠隔授業推進校に指定し研究してきました。そんな中、突然臨時休業となり、急遽全ての小中学校で行うことになりました。推進校は、本校を含むその他の学校とは違い、充実した設備のもと、様々な可能性を追究し、先行して実施してきました。それが、時々新聞やテレビで派手に紹介されているのです。

### ◇時間や回数を増やせないのか？

その他多くの学校は、臨時休業の混乱の中、ほぼ手探りの状態で遠隔授業に取り組んでいます。推進校は、市教委がそろえた潤沢な回線環境のもと、同時に2～3の授業が可能となっています。これに比べて、本校など普通の学校は、1回ずつしか行えません。1回の最大参加人数は100人ですが、60人を超えると容量の関係で映像や音声途切れます。また、回線を繋いでから授業開始までは、15分から20分の設定・確認の時間が必要です。つまり、1つの授業を行う場合、設定20分、授業30分、次の準備10分となり、1コマ1時間サイクルとなるのです。

よって、全校生徒507人、15学級（1学年6学級、2学年5学級、3学年4学級）の本校は、2クラス合同にしても、8グループとなり、一日6回実施したとすれば、一人の生徒が受けられるのは、1日半に1回というのが現状です。学年によっては30分を2つに分けて、2教科を15分ずつ行うなど工夫しております。

### ◇今後の展望は？

正直、始まったばかりで試行錯誤の状態ですが、先生方が私物を持ち寄り、少しずつハード面を整え、徐々にではありますが、改善されてきております。また、回を重ねる毎に準備に要する時間も短縮してきており、今後、実施コマ数を増やすことは可能と思っています。また、あれこれ工夫した結果、2回線も可能となりそうなので、今後は、二つの学年が同時に遠隔授業を行うことが可能となる見込みです。

なお、市では、一人一台のタブレット端末を配布すると発表しましたが、クリアしなければならない壁はたくさんあります。今後、市教委の協力を得ながら前進します。

今後においては、遠隔授業の質を高めるとともに、各家庭において一人で授業を受けている生徒の学習（ノートの書き方や双方向の対話等）を助けられるよう、遠隔授業と登校日の授業、タッチ&ゴーなどを効果的に使って生徒の学びを支えていきます。

なお、プリント課題を増やしてほしいという要望には、早速対応したいと思います。また、購入した各教科のワーク等補助教材が学校に届けられておりますので、順次配布する予定です。

また、タブレット端末を使った個別最適化学習の導入に向け準備を進めています。それが整えば、授業以外の予習や復習、全国の入試過去問題を容易に取り寄せ自分のペースで学習できるようになります。西中生のために可能性をとことん追求していきます。

## 学校からの回答（運営面）

### ◇タッチ&ゴーについて

市教委の指示は、「週一回学年毎に登校日を設けること。それ以外は遠隔授業を行うこと。」の2点です。例えば、1年生は、月曜日の午前（2～3時間）に登校すると次に学校に出るのは翌週の月曜日、その間一日半に1回（30分程度）の遠隔授業となり、それ以外はひたすら自宅学習となります。

このような現状を踏まえ、本校では独自に「タッチ&ゴー」という方法を考えました。もちろん、感染リスクを考えれば、不要な外出は避けなければならないことは承知しています。しかし、成長期の子どもたちが、家の中に閉じこもってばかりいるのもどうかと正直思っています。これまでのタッチ&ゴーの状況を見ていると、ほとんどの生徒は歩いて登校しておりますが、保護者が自家用車で送ってきている生徒もおります。（それでも可）都合が付かない場合は、時間を変えて登校したり、家庭訪問で対応したりしています。

GW明けの5月7日以降、どのような体制になるか、今のところ不明ですが、登校日が増えれば、必然的にタッチ&ゴーは不要になります。

### ◇学校運営・危機管理体制について

できるだけ正確な情報を早くお伝えしたいと心掛けております。また、大事なお知らせはまちこみメールで、生徒の活躍などは、写真付きタイムラインでお知らせしているつもりです。多くの保護者の方は、日中お仕事をしており、そんな中、頻繁にまちこみが流れるのも迷惑ではないかとも思っております。

皆さまの不安を増させたのが、23日（木）朝突然の「発熱、登校中止指令」だと思います。あの時は、ほぼ同時に3名の報告があり、しかも入学式後2週間目という状況だったため、最悪の事態が頭をよぎり、何をおいてもまずは登校を中止しようかと決断しました。その後、保健所や市教委から心配なしの確認をとり、結果報告メールを出しましたが、その出し方も皆さまの不安解消には至らなかったようで深く反省しております。今後も同じようなことが起こる可能性があります。冷静に状況を見極め対応して参ります。

危機管理という点で、マスクをしていない教員がいたとのこと、改めて全教職員に指導を徹底します。

### ◇まちこみ、その他について

できるだけ正確な情報を早くお知らせする手段としてまちこみは、極めて有効と考えています。また、長引く休業に伴い、これからも様々な問題が起こると思われませんが、個別に対応できる場合は個別に、全体に発信すべきものは全体にお知らせしながら前進して参ります。学年更新については、速報として

既に説明していますが、事態が安定し次第対応します。

修学旅行業者とは、定期的に連絡を取り合っています。大手旅行会社ですが、大変厳しい状況であることには間違いのないようです。どのような形であれ、生徒や保護者の皆さまが被害を被ることがないように働きかけて参ります。

2学年のクラス発表については、あれこれ悩んだ結果、できるだけ一斉に発表することを優先しました。他校では、個別に伝えたり、HP上で発表したりした学校もあったようですが、本人が知る前にSNSで流れたり、いじめのようなことが起こるなど、本校が心配したことが、現実には起きていると聞いています。ただ、いつ発表するか、なぜそうするのかを事前にお知らせすべきでした。これもまた情報の発信不足だったと反省しております。

本校では、3月12日のまちこみメールで体力維持のための自主練習メニュー（現在もHP上に掲載中）を紹介し、3密を避けながら積極的に体力づくりをすることを薦めてきました。また、地域巡回の際、トレーニング中の生徒と出会うことも度々ありました。しかし、公園で毎日遊んでいるということですので、厳しく指導すると共に、巡回を強化いたします。

臨時休業が長引いておりますが、全体的に見て西中生は、事態の重さを把握し、よく辛抱していると認識しております。校訓に示された「艱難に耐える」西中生を誇りに思っております。

## 学校からの回答（結びに）

今回、初めてこのような「Web 学校評価」を行ってみて、保護者の皆さまからご意見をいただいたことは、今後の学校運営上、大変有効であると感じました。敢えて載せてはませんが、いただいたコメントの大多数は、本校の先生方への感謝と励ましの温かいお言葉でした。正直、何が正しく、どうすればいいかも分からず、とにかく西中生が路頭に迷うことなく、最悪な状況下にあっても、夢の実現に向けて半歩でも前進できればいいと思い教職員一丸となって取り組んでおります。

今後におきましても、保護者の皆さまの参画を得ながら、進めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

令和2年4月28日

青森市立西中学校  
校長 今別幸司